

2018 支部総体を終えて

陸上競技部顧問 笹川浩司

長い冬季トレーニングを終えて、いよいよ2018シーズンがスタートした。幾つかの小さな競技会に腕試しとして参加してはいるものの、インターハイにつながる第一歩の支部予選をどのように戦えるか、競技力に関係なく緊張と不安との戦いの中その日を迎えた。

『今までやってきたことを信じて臨めば、自ずと結果はついてくるものだから。』とってくれるといいなあ、と選手たちを審判をしながら見守っていた。

蓋を開けてみると、昨年度までの活躍とまた違った形での板橋高校の活躍があった。昨年度は男子のトラックを中心に好成績を上げてきた感があるが、今年度は女子が大活躍し、エントリーした女子全員が都大会進出を果たしたのである。男子はフィールド種目で複数入賞をしたものの、トラック種目は残念な結果に終わった。今後の奮起に期待したい。

そのような中、本校OBの日体大陸上競技部で800mに取り組むNH君からメール連絡が入り、関東インカレのB標準を突破する1分54秒00を記録したという内容であった。

高校を卒業しても尚、競技を続け、自己ベストを3秒以上短縮した先輩のメッセージに刺激を受けたのか、女子のトラックでの活躍には目を見張るものがある。100mではエントリーした3名が決勝に残り2名が12秒台をマーク、200mでは7位、400m、800mでは1年生ながら2種目とも自己新での入賞、更に400mリレー、1600mリレーともにチームベストでそれぞれ都大会進出、フィールド種目は円盤投での優勝を筆頭に、エントリーした種目すべてで入賞を果たした。

今回個人種目15、リレー2 計17で都大会に臨むこととなったが、この数は、過去最高である。一人でも多く関東大会に進出、あるいは自己新記録を目指してほしい。期待せずにはいられない。

支部総体入賞者

男子

走高跳	W.Y(3)	1m80	4位	走幅跳	K.Y(2)	6m25(+1.9)	8位
三段跳	T.K(3)	12m76(+1.2)	5位	三段跳	K.Y(2)	12m69(+2.5)	7位
砲丸投	I.Y(2)	11m44	4位	やり投	S.C(3)	45m11	6位

女子

100m	E.M(2)	12.65(+1.0)	2位	100m	K.S(2)	12.86(+0.8)	5位
200m	E.M(2)	26.97(+2.1)	7位	400m	S.M(1)	1.01.51	3位
800m	S.M(1)	2.20.30	6位				
400mR	K.S(2)	E.M(2)	H.K(2)	T.M(3)	51.03	5位	
1600mR	E.S(1)	S.M(1)	T.M(3)	I.M(1)	4.13.29	標準記録突破	
走高跳	H.K(2)	1m40	3位	走高跳	E.S(1)	1m40	4位
走幅跳	K.S(2)	4m92(+0.5)	5位	三段跳	K.S(2)	11m01(-0.1)	標準記録突破
砲丸投	O.K(3)	9m46	3位	円盤投	O.K(3)	33m60	1位

